



花勝百合

立烏帽子

令和4年度 広島県黒毛和種

# 種雄牛

# 改良の歴史



杭の牛市（昭和初期）



壬生の花田植

広島県では、天曆5年（951年）には日本三大市場の「**杭の庄**（三原市）」で牛の取引が行われていたと伝えられており、牛は古くから暮らしに息づいていました。平成23年にユネスコ無形文化遺産に登録された豊穰祈願の行事「**壬生（みぶ）の花田植**（北広島町）」など、今もその伝統が受け継がれています

## 比婆地域での改良

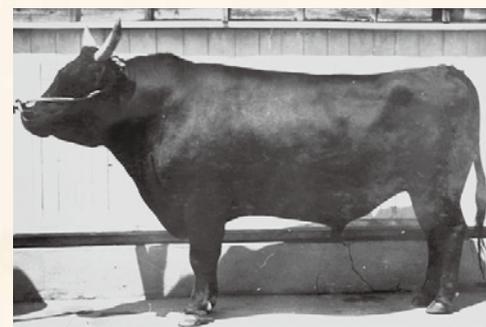
比和町で天保14年（1843年）に造成された日本最古の蔓（つる）である「**岩倉蔓**」は、長命連産で飼いやすく、頭角優美、体幅、体深に富み、乳房良好という特色を持っていました。この「岩倉蔓」と帝釈村の「**有実蔓**」の共通美点を有する「**あづま蔓**」を造成して、昭和18年に「**第21深川**」が誕生し、深川系として「**第40岩田**」などの優良種雄牛を産出しました。

昭和23年には比和町で、第38岩田系の始祖となる「**第38の1岩田**」が誕生しました。本牛は、体積とくに体伸に富み、均称、体上線、尻などが良好で、孫牛の「**柿乃木**」は、後に神石郡での改良にも貢献しました。

昭和30年代には兵庫県から「茂金波」「田安土井」の精液を導入し、系統間交配により前者から「**乙社6**」「**第43岩田の14**」、後者から「**第43岩田の10**」を作出しました。



第21深川



第38の1岩田

## 神石・双三・高田地域での改良

神石郡でも古くから種雄牛育成・子牛生産が盛んで、江戸時代には「竹屋牛」、明治初期には「有本蔓」といった蔓が存在しました。大正末期には「**豊萬**」が出現し、比婆郡の「**八幡**」と共に、大正天皇の御大葬の儀で轎車を引く奉引牛として榮譽を担いました。その「豊萬」の6代孫に「**第2横利**」が生まれ、第2横利系の祖となっています。

## 育種圏統一での改良

昭和53年に、比婆系の「乙社6」を神石系の「柿乃木」の娘牛に系統間交配した「初代14」が誕生しました。本牛は、発育、体積とくに体伸、資質、前軀に優れ、その後の県内和牛の改良に大いに貢献しました。

昭和61年には、比婆・神石・双三・高田の育種圏を統一し、比婆系・神石系の系統間交配を進めました。



初代14



## 育種価と県外種雄牛の活用

科学的な遺伝的能力評価による産肉能力の効率的な改良を図り、優秀な種雄牛を作出するため、平成3年に全国に先駆けて**育種価を導入**しました。育種価による能力評価により、広島和牛の改良すべき産肉形質が明らかになったことから、「**平茂勝**」、「**茂波**」、「**安平照**」といった県外の優秀種雄牛を活用した種雄牛造成に取り組みました。その結果、気高系の「**勝白**」、茂金波系の「**沖茂金波**」、土井系の「**田安照**」といった高い能力を有する種雄牛が誕生しました。

さらに、これらの種雄牛の優秀な遺伝子を活用した次世代種雄牛の造成を推進しました。この中で、「沖茂金波」の後継牛造成では、第10回全共（長崎県）で第1区4席を獲得した「**3柴沖茂**」が誕生し、県内で広く活用されました。「田安照」の後継牛造成では、BMS能力の育種価において県内No.1の評価を受けた「**芳乃照**」が誕生しました。



沖茂金波

## 新しい種雄牛検定方法の取組

この間、改良速度を上げるため、平成5年に分割した受精卵から一卵性双子を生産し、片方の肥育成績から能力を検定する手法により「**宮島**」を誕生させました。さらに、平成19年からは検定の正確度を高めるため、一卵性多産子（受精卵クローン）による「**クローン検定**」を実施し、平成24年に「勝白」の後継牛となる「**紅勝白**」を選抜しました。



紅勝白

## 全国レベルの種雄牛の誕生

県外の優良遺伝資源の活用や先進技術の活用により、広島和牛の産肉能力の改良は飛躍的に進みました。その結果、令和3年には、造成当時育種価評価県内No.1の「美津百合」と、広島血統の「勝白」を父に持つ優秀雌牛を交配して造成した「**花勝百合**」が、**BMS No.の検定成績が歴代1位**の成績で選抜されるとともに、全兄弟の「**花勝美**」も好成績で、（一社）家畜改良事業団にも選抜され、全国的に高く評価される種雄牛が誕生しています。

# 広島県のこれからの種雄牛造成

## 「ゲノム育種価」の活用による改良速度の向上

### ★「ゲノム育種価」とは？

評価する牛の血液や毛根などから採取した DNA の情報を用いて評価する新しい育種価評価の方法です。ゲノム育種価は、期待育種価（両親の育種価の平均）よりも正確な評価が行えるため、育種価が判明する**約5歳までの若齢牛での活用が最も効果的**です。



### ● 広島県の取組

平成 30 年度から、種雄牛造成へのゲノム育種価の活用を開始しました。交配雌牛の選定にゲノム育種価を用いることで、若齢の高能力雌牛からも造成を行い、改良速度の向上に寄与しています。また、種雄牛候補の雄子牛の選抜基準のひとつとしてゲノム育種価を活用することで、従来よりも高い精度で高能力な牛を選抜できるようになりました。

今後は、枝肉6形質だけではなく、広島和牛の新たな価値となる形質についてもゲノム育種価の活用を目指して研究を行っていきます。

## 広島和牛の新たな魅力！「脂肪の質」に着目した改良

### ● 注目される和牛肉の「脂肪の質」

和牛肉の美味しさの特徴である口溶けや風味の良さには、「脂肪の質」が関与しています。

第 12 回全国和牛能力共進会では、肉牛区に牛肉脂肪中の MUFA 割合を評価する「脂肪の質評価群」が新設されるなど、「脂肪の質」への関心が高まっています。

### ★ MUFA (エムユーエフエー) とは？

一価不飽和脂肪酸 (MonoUnsaturated Fatty Acid) の略称です。

MUFA の割合が高い脂肪は、**融点が低く、**  
**体温以下でも溶けるため、口溶けが良い**とされます。



### ● 広島県の取組

平成 30 年から、広島市食肉市場での MUFA 測定体制を構築し、令和 2 年に初めて種雄牛や繁殖雌牛の MUFA 育種価評価を行いました。

県有種雄牛においても、「芳乃照」や「黒笹波」等の MUFA 育種価が高い種雄牛が判明しており、「芳乃照」については、令和 2 年度に MUFA 割合の改良を目的に種雄牛造成を開始しました。



MUFA 測定の様子

# はなかつゆり 花勝百合

- ◆登録番号(得点)：黒15316 (83.4)
- ◆生年月日：平成27年11月17日
- ◆繁殖者：渡辺 英治氏  
(神石郡神石高原町)



気高系

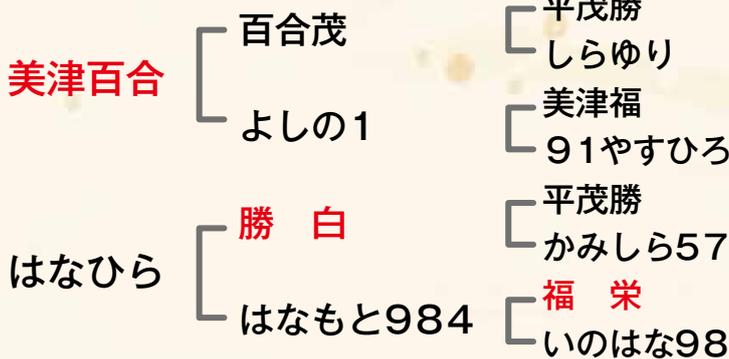
## プロフィール

(一社)家畜改良事業団所有の「美津百合」のBMS能力と広島県の名牛「勝白」の枝肉重量能力を受け継いだ、質量兼備の基幹種雄牛です。  
 国が実施する広域後代検定において、14道県35種雄牛中BMS及び日齢枝肉重量で堂々1位の高い評価を受けました。  
 ※広域後代検定：県域を越えた広範囲な地域で実施する能力評価事業

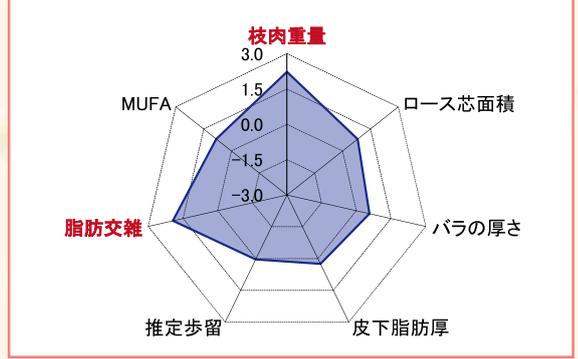
## 推奨する交配

幅広い系統の雌との交配で、良好な肥育成績が出ています。産子がやや大きいため、経産牛への交配をお勧めします。  
**【産子の枝肉成績が良好な母牛の血統】**  
 隆之国、安福久、百合茂、勝忠鶴

## ◆血統

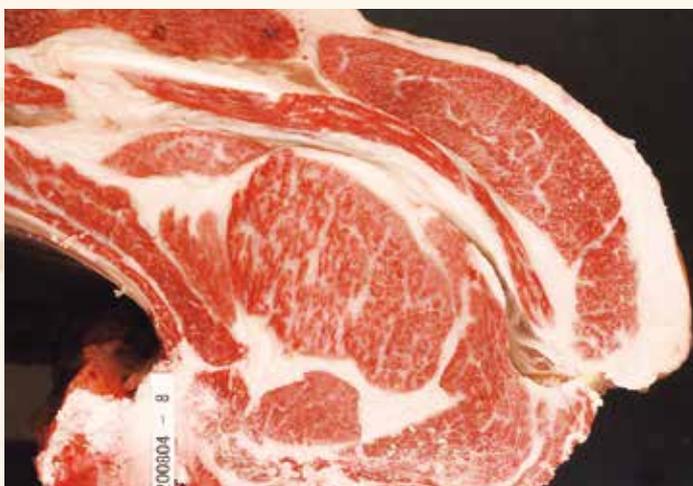


## ◆標準化育種価

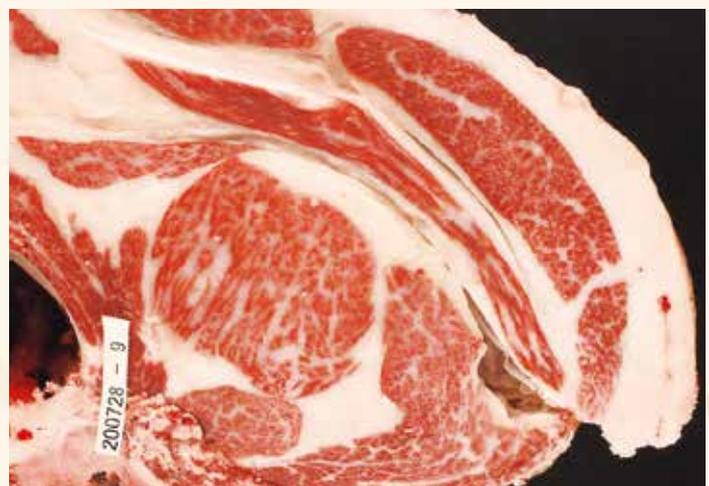


## ◆現場後代検定成績

	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	歩留基準値	BMS No.	上物率
去勢	12	539kg	68cm <sup>2</sup>	8.5cm	74.6%	8.8	100%
雌	6	471kg	66cm <sup>2</sup>	7.8cm	74.8%	9.0	100%
全体	18	516kg	67cm <sup>2</sup>	8.3cm	74.7%	8.8	100%



母の血統	徳悠翔 - 安福165の9	性別	雌
BMSNo.	11	バラの厚さ	6.5cm
枝肉重量	507kg	ロース芯面積	79cm <sup>2</sup>



母の血統	安福久 - 勝忠平	性別	雌
BMSNo.	10	バラの厚さ	7.8cm
枝肉重量	445kg	ロース芯面積	58cm <sup>2</sup>

# 広島血統再構築の取組

## 広島血統和牛ブランドの構築

広島和牛の銘柄牛肉を、ひろしまの食のイメージを構成する価値の高い食材として定着させるために、「強い独自性」と「高い付加価値」を持たせ、ブランド力を高める必要があります。

そのため、「比婆牛」及び「神石牛」など広島血統を活かし差別化要素の強化を図ったブランドを構築し、独自性の高い特色ある広島和牛生産に取り組んでいます。

さらに、歴史や伝統を生産から販売に伝達する仕組みを県が確認し担保する制度として、平成25年に「**広島血統和牛承認制度**」を策定して県産和牛のブランド力の強化を図っています。



## 広島血統種雄牛の復活，歴史を活かした特色ある和牛生産

産肉能力の向上を目的とした種雄牛造成を展開するにつれて、造成された種雄牛には、第38岩田系や第2横利系などの広島血統が失われていきました。

そのため、現在活用されている種雄牛と同程度以上の産肉能力を有し、広島血統を色濃く持った種雄牛を造成し、**広島血統とその特色を再構築すること**が新たな課題となりました。

そこで、「広島血統再構築」に取り組むこととし、平成28年には「**第38岩田系**」種雄牛の造成を再開し「**烏帽子**」を造成しました。「烏帽子」の後継種雄牛「**立烏帽子**」は、第11回全共（宮城県）第1区に出品し、広島血統再構築の取組が評価されました。

また、「**第2横利系**」種雄牛の造成も推進し、神石地域の系統雌牛である「**じんてつ系**」の優秀雌牛などを活用して、2頭の雄子牛を生産しています。

さらに、「**広島波系**」種雄牛「**帝釈丸**」は、産子の肥育成績において高い実力を発揮し、育種価のBMS能力が8.0を超える評価を受け、再構築種雄牛が現在でも十分活躍できる可能性を示しました。

### 第38岩田系 「烏帽子」



第3神竜の4  
 第31青滝  
 柿乃木  
 第4かわ  
 井上  
 第3しんりゆう  
 第12おんじ4  
 乙社6  
 第5ふかはつたん  
 第3神竜の4  
 とみやす82  
 とみやす8  
 とみの1

広島血統再構築種雄牛造成の起点として、岩田系直系の名牛「**第3神竜の4**」から造成しました。

### 第2横利系 「紅横利」



第2横利  
 土井重  
 種18中森  
 さるはな  
 種18中森  
 かわかみ  
 美津照  
 いつみ  
 安福久  
 きよみ  
 きたみつふく

「豊萬」号の子孫である「**第2横利**」から雄子牛を生産しました。  
 ※生産した雄子牛の1頭。未選抜牛。

### 広島波系 「帝釈丸」



9中丸  
 乙社  
 第5ふかはつたん  
 茂金波  
 第21にんや  
 第43岩田の10  
 くりの3  
 谷福土井  
 みつふく2  
 よしの1  
 91やすひろ  
 9中丸  
 第3やすひろ

父は「茂金波」の子孫である「**9中丸**」、母は、美津百合の母と同じ「**よしの1**」から造成しました。

た て え ぼ し  
立烏帽子

◆登録番号(得点)：黒原6162(86.8)  
◆生年月日：平成27年12月16日  
◆繁殖者：立川道和氏  
(庄原市東城町)

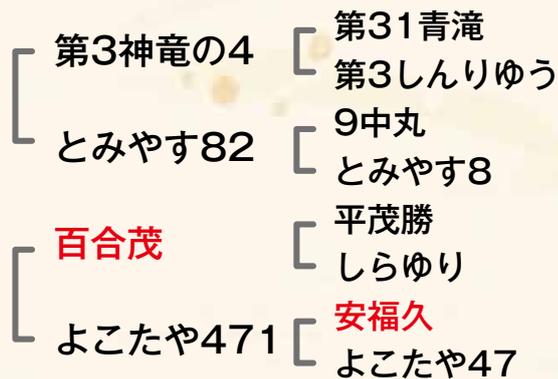


プロフィール	推奨する交配
<p>広島血統である第38岩田系の流れを受け継ぐ「第3神竜の4」の直系種雄牛です。</p> <p>本牛は体幅、体伸に富み、第11回全共第1区(若雄区)ではその体型が評価され、優等賞12席を獲得しました。第12回全共ではその産子を第1区、6区に出品し、本牛の改良成果を示します。</p>	<p>希少な広島血統の種雄牛のため幅広い血統との交配が可能です。</p> <p>【産子の枝肉成績が良好な母牛の血統】 美国桜、安福久</p>

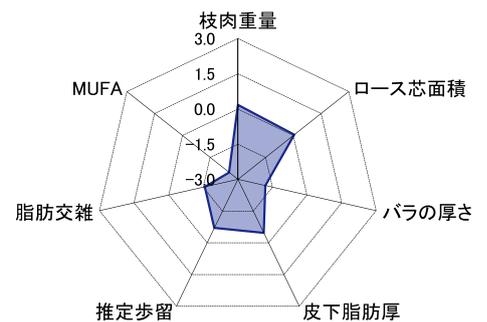
◆血統

烏帽子

よこたやたつ1



◆期待標準化育種価



◆第12回全共第1区出品候補牛



仁義烏 (じんよしくろ) (写真右) と仁義烏2 (写真左)



母の血統	美国桜 - 美津福	性別	去勢
BMSNo.	12	バラの厚さ	8.2cm
枝肉重量	491kg	ロース芯面積	90cm <sup>2</sup>

# 基幹種雄牛

## はなかつみ 花勝美

- ◆登録番号(得点)：黒15317 (83.0)
- ◆生年月日：平成27年4月16日
- ◆繁殖者：渡辺 英治 氏  
(神石郡神石高原町)



気高系

### プロフィール

父「美津百合」と母の父「勝白」はともに「9中丸」の血統を汲んでおり、貴重な広島血統を有しています。  
 (一社)家畜改良事業団と共同で産肉能力評価を行い、枝肉重量・脂肪交雑で優れた成績を示したことで(一社)家畜改良事業団においても選抜され、全国供用されている種雄牛です。

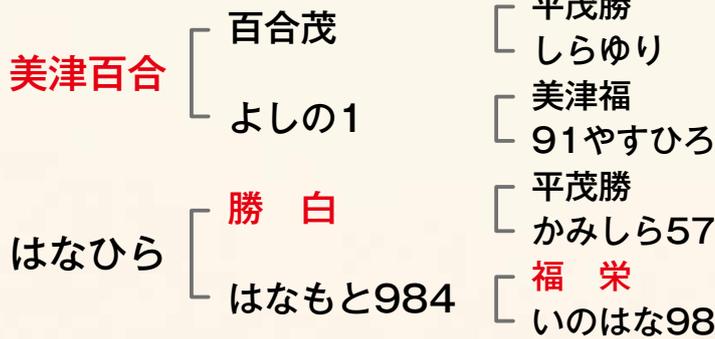
### 推奨する交配

幅広い系統の雌への交配で、良好な肥育成績が出ています。

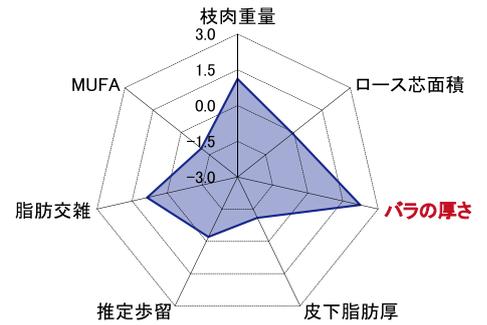
【産子の枝肉成績が良好な母牛の血統】

美津照重, 諒太郎, 安福久, 福安照, 勝忠平

### ◆血統



### ◆標準化育種価



### ◆現場後代検定成績

	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	歩留基準値	BMS No.	上物率
去勢	6	532kg	71cm <sup>2</sup>	8.6cm	74.9%	9.5	100%
雌	8	474kg	68cm <sup>2</sup>	8.3cm	74.8%	8.4	88%
全体	14	499kg	70cm <sup>2</sup>	8.4cm	74.8%	8.9	93%



母の血統	美津照茂 - 勝忠平	性別	去勢
BMSNo.	12	バラの厚さ	9.1cm
枝肉重量	504kg	ロース芯面積	88cm <sup>2</sup>

母の血統	安福久 - 百合茂	性別	雌
BMSNo.	10	バラの厚さ	8.1cm
枝肉重量	490kg	ロース芯面積	68cm <sup>2</sup>

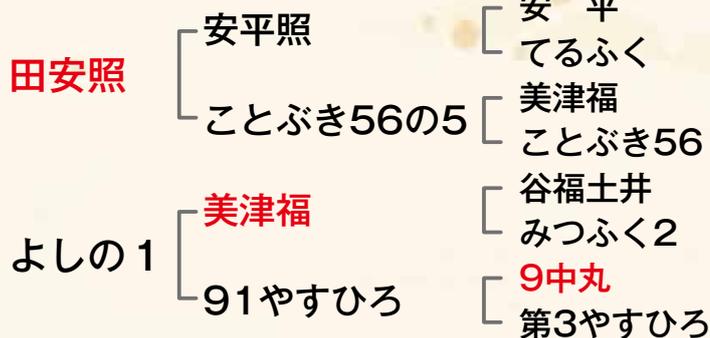
# よしのてる 芳乃照

- ◆登録番号(得点)：黒原5786 (82.3)
- ◆生年月日：平成24年6月5日
- ◆繁殖者：(株)のば牧場  
(三次市布野町)

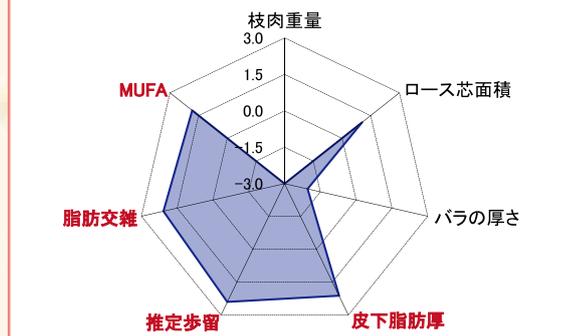


プロフィール	推奨する交配
脂肪交雑能力、MUFA など抜群な肉質能力を誇るとともに、推定歩留能力もトップクラスの評価を得ている土井系種雄牛です。 「勝白」や「百合茂」など大型の種雄牛を父に持つ母牛への交配により、500kg以上の枝肉重量の肥育成績が得られています。 第12回全共(鹿児島)第7区(脂肪の質区)に産子を出品しています。	子牛が小さい傾向にある為、大型の雌牛への交配を推奨します。また、初産牛の難産回避のための交配にも適しています。 【産子の枝肉成績が良好な母牛の血統】 百合茂, 勝白, 紅勝白, 幸紀雄

## ◆血統

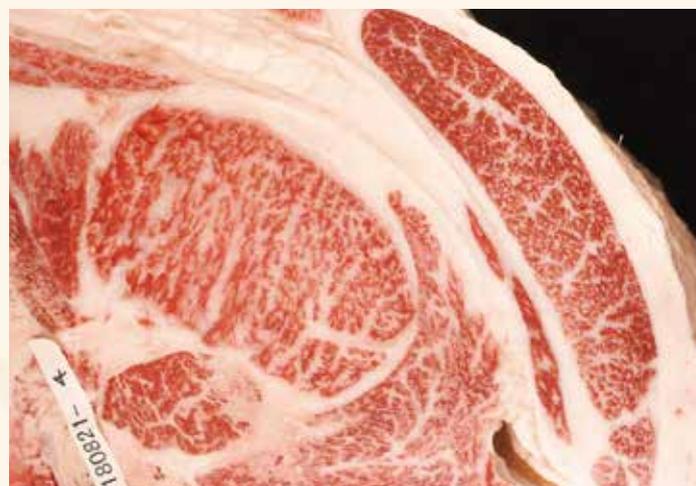


## ◆標準化育種価



## ◆現場後代検定成績

	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	歩留基準値	BMS No.	上物率
去勢	7	459kg	68cm <sup>2</sup>	7.3cm	75.6%	8.3	100%
雌	10	411kg	64cm <sup>2</sup>	7.2cm	75.0%	7.5	100%
全体	17	431kg	65cm <sup>2</sup>	7.2cm	75.3%	7.8	100%



母の血統	百合茂 - 安福久	性別	雌
BMSNo.	10	バラの厚さ	6.3cm
枝肉重量	410kg	ロース芯面積	65cm <sup>2</sup>

母の血統	安茂勝 - 安平	性別	去勢
BMSNo.	9	バラの厚さ	7.4cm
枝肉重量	420kg	ロース芯面積	63cm <sup>2</sup>

おきしげのむら

# 沖茂野村 1 2

◆登録番号(得点): 黒原6002 (83.0) ◆繁殖者: 立川 和幸氏  
 ◆生年月日: 平成26年7月14日 (庄原市東城町)

沖茂金波

茂波(事業団)  
 さきよなご11

茂重波  
 やえこ3  
 初代14  
 やまがたやの3

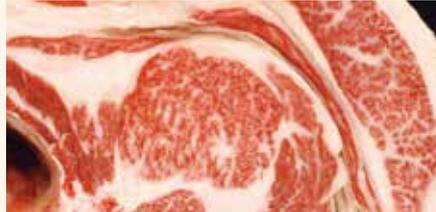
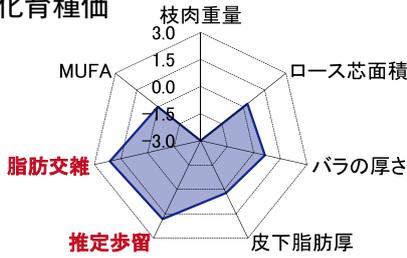
みついとふく

糸福(鹿児島)  
 みつふくのむら

北国7の8  
 みつこ3  
 美津福  
 のむら16



### ◆標準化育種価



母の血統	美津照重 - 勝忠平	性別	去勢
BMSNo.	12	バラの厚さ	8.8cm
枝肉重量	450kg	ロース芯面積	62cm <sup>2</sup>

母の血統	美津照重 - 勝忠平	性別	去勢
BMSNo.	7	バラの厚さ	9.5cm
枝肉重量	497kg	ロース芯面積	82cm <sup>2</sup>

### ◆現場後代検定成績

	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	歩留基準値	BMS No.	上物率
去勢	9	428kg	62cm <sup>2</sup>	8.2cm	75.2%	8.7	100%
雌	10	416kg	64cm <sup>2</sup>	8.4cm	75.2%	7.8	90%
全体	19	421kg	63cm <sup>2</sup>	8.3cm	75.2%	8.2	95%

# 黒笹波

◆登録番号(得点): 黒15181 (83.4) ◆繁殖者: 油木繁殖実験牧場  
 ◆生年月日: 平成26年8月17日 (神石郡神石高原町)

沖茂金波

茂波(事業団)  
 さきよなご11

茂重波  
 やえこ3  
 初代14  
 やまがたやの3

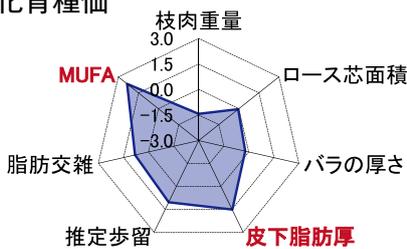
くろささ2

勝白  
 くろささ1

平茂勝  
 かみしら57  
 美津福  
 ささじり4



### ◆標準化育種価



母の血統	美津照重 - 21世紀	性別	雌
BMSNo.	10	バラの厚さ	7.0cm
枝肉重量	482kg	ロース芯面積	78cm <sup>2</sup>

母の血統	美津照重 - 勝忠平	性別	去勢
BMSNo.	9	バラの厚さ	7.4cm
枝肉重量	467kg	ロース芯面積	78cm <sup>2</sup>

### ◆現場後代検定成績

	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	歩留基準値	BMS No.	上物率
去勢	6	476kg	65cm <sup>2</sup>	7.9cm	75.4%	6.5	100%
雌	9	425kg	60cm <sup>2</sup>	8.1cm	74.7%	6.7	89%
全体	15	445kg	62cm <sup>2</sup>	8.0cm	75.0%	6.6	93%

# 令和4年度選抜予定種雄牛

## ふくかじおおしば 福梶大柴

◆登録番号(得点): 黒原6160 (85.8) ◆繁殖者: 大野 逸夫 氏  
 (安芸高田市美土里町)  
 ◆生年月日: 平成28年1月6日

3柴沖茂

沖茂金波  
3しばらぎ4

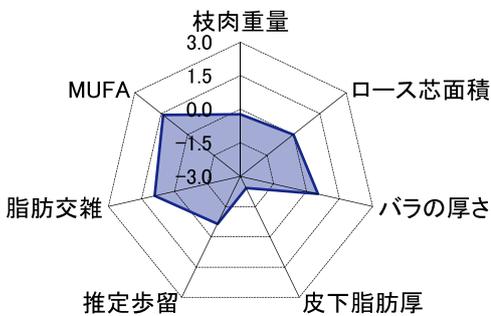
ふくかじかわ7

勝忠平  
ふくかじかわ

茂波(事業団)  
さきよなご11  
平茂勝  
3しばらぎ  
平茂勝  
うめ2  
安福165の9  
3やまさき



### ◆標準化育種価



母の血統	田安照 - 沖茂金波	性別	雌
BMSNo.	11	パラの厚さ	8.3cm
枝肉重量	371kg	ロース芯面積	70cm <sup>2</sup>



母の血統	烏帽子 - 安福久	性別	去勢
BMSNo.	10	パラの厚さ	7.0cm
枝肉重量	445kg	ロース芯面積	64cm <sup>2</sup>

## おおしば 大柴 1

◆登録番号(得点): 黒原6159 (87.2) ◆繁殖者: 大迫 一三 氏  
 (庄原市峰田町)  
 ◆生年月日: 平成28年2月20日

3柴沖茂

沖茂金波  
3しばらぎ4

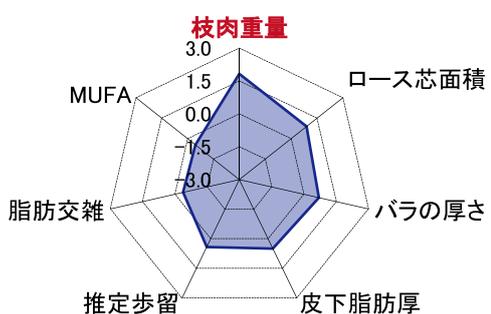
どいばら8の3

平茂勝  
どいばら8の4

茂波(事業団)  
さきよなご11  
平茂勝  
3しばらぎ  
第20平茂  
ふくみ  
福 栄  
どいばら8



### ◆標準化育種価



母の血統	亀勝 - 茂波	性別	雌
BMSNo.	8	パラの厚さ	7.8cm
枝肉重量	461kg	ロース芯面積	66cm <sup>2</sup>



母の血統	百合茂 - 糸福 (鹿児島)	性別	去勢
BMSNo.	9	パラの厚さ	8.2cm
枝肉重量	525kg	ロース芯面積	68cm <sup>2</sup>

# 待機種雄牛一覽

## 令和5年度選抜予定

### べにかみてる 紅神照

◆生年月日：平成28年10月1日  
◆繁殖者：県立畜産技術センター  
(庄原市七塚町)



土井系

審査得点	85.0
体型の美点	体伸, 体深

田安照

ゆりさわ

百合茂

さわひさ1の8

平茂勝  
しらゆり

平茂勝  
さわひさ

全きょうだい牛が、枝肉重量 566kg, BMS12 の好成績を残しており、「田安照」の増体能力を改良した期待の土井系種雄牛です。

### ゆりさわてる 百合沢照

◆生年月日：平成28年10月2日  
◆繁殖者：県立畜産技術センター  
(庄原市七塚町)



土井系

審査得点	86.0
体型の美点	体伸, 均称, 資質, 体深

田安照

ゆりさわ

百合茂

さわひさ1の8

平茂勝  
しらゆり

平茂勝  
さわひさ

肉質能力に優れた「田安照」と、供卵牛として県内の改良に貢献した「さわひさ1の8」の娘「ゆりさわ」との掛け合わせで造成した種雄牛です。

## 令和6年度選抜予定

### てるしげやま 照茂山

◆生年月日：平成29年5月7日  
◆繁殖者：野山牧場  
(東広島市安芸津町)



土井系

審査得点	83.0
体型の美点	体伸, 資質, 中軀

田安照

いとしげ

茂重安福(岐阜)

あんな5

茂重波  
たかこ  
糸福(鹿児島)  
こころ

3代祖に気高系種雄牛を含まない希少な血統の種雄牛です。全きょうだい牛が、枝肉重量 498kg, BMS11 と好成績を残しています。

### のむらたつ 野村立

◆生年月日：平成29年9月16日  
◆繁殖者：立川 和幸氏  
(庄原市東城町)



土井系

(逆版を使用しています。)

審査得点	84.0
体型の美点	体深, 中軀, 体上線, 腿

田安照

のむら77

百合茂

のむら7

平茂勝  
しらゆり

平茂勝  
のむら32

育種牛として認定され、体型・産肉能力ともに評価の高い「のむら77」との交配で造成しました。肉質能力(BMS, MUFA)に期待の種雄牛です。

## 令和7年度選抜予定

### たつはし 立橋58

◆生年月日：令和元年5月8日  
◆繁殖者：立川 和幸氏  
(庄原市東城町)



審査得点	84.5
体型の美点	体伸, 資質, 背幅

勝白福

たつはし55

茂勝栄

たつはし5

平茂勝  
第5やすぎく  
糸福(鹿児島)  
たつはし41

高い産肉能力を持つ「たつはし55」との交配により生産された本牛は、「勝白福」の優れた増体の維持と、肉質能力の向上が期待されます。

### かつやまぎくら 勝山桜

◆生年月日：令和元年8月6日  
◆繁殖者：野山牧場  
(東広島市安芸津町)



審査得点	83.7
体型の美点	体伸, 内腿, 皮膚

勝白福

のやま8046

美国桜

ひらさくら

第1花国  
もとみつ  
勝白  
さき

父母の両方から「勝白」の流れを汲む本牛は、直接検定時の365日補正体重が533kgと高い枝肉重量が期待される気高系種雄牛です。

## 令和8年度選抜予定

### やまねしんりゅう 山根神竜

◆生年月日：令和2年3月16日  
◆繁殖者：岡崎 伸次氏  
(神石郡神石高原町)



審査得点	84.8
体型の美点	均称, 体伸, 肢勢

沖茂神竜

4やまね25

安福久

4やまね2

安福165の9  
もとじろう  
平茂勝  
4やまね

全きょうだい牛が、第93回県共枝肉の部で主席(枝重519kg, ロース芯87cm, BMS11)を獲得しており、質量ともに期待の波系種雄牛です。

### なみひらさくら 波平桜

◆生年月日：令和2年4月13日  
◆繁殖者：野山牧場  
(東広島市安芸津町)



審査得点	84.4
体型の美点	体積, 中軀, 皮膚

沖茂神竜

ひらさくら

勝白

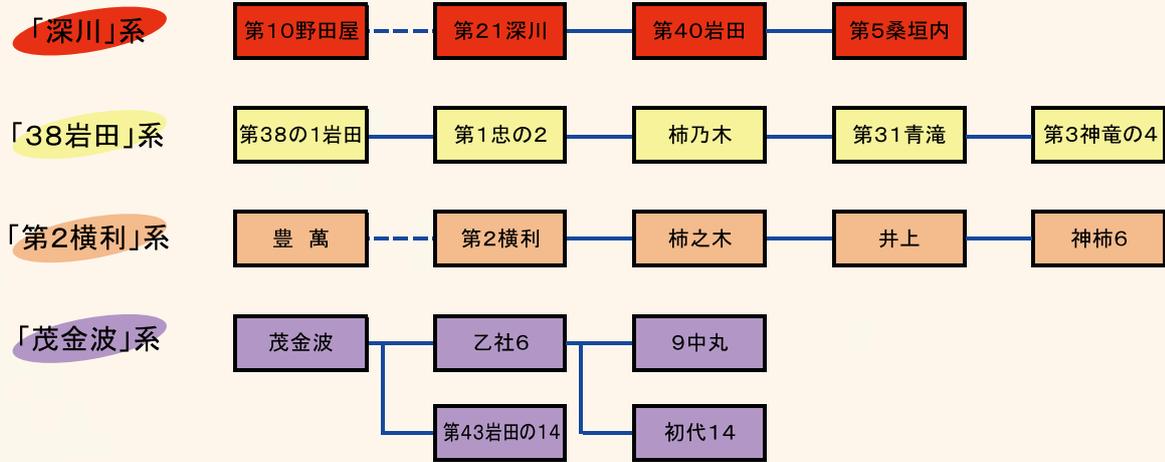
さき

平茂勝  
かみしら57  
安平  
きらり

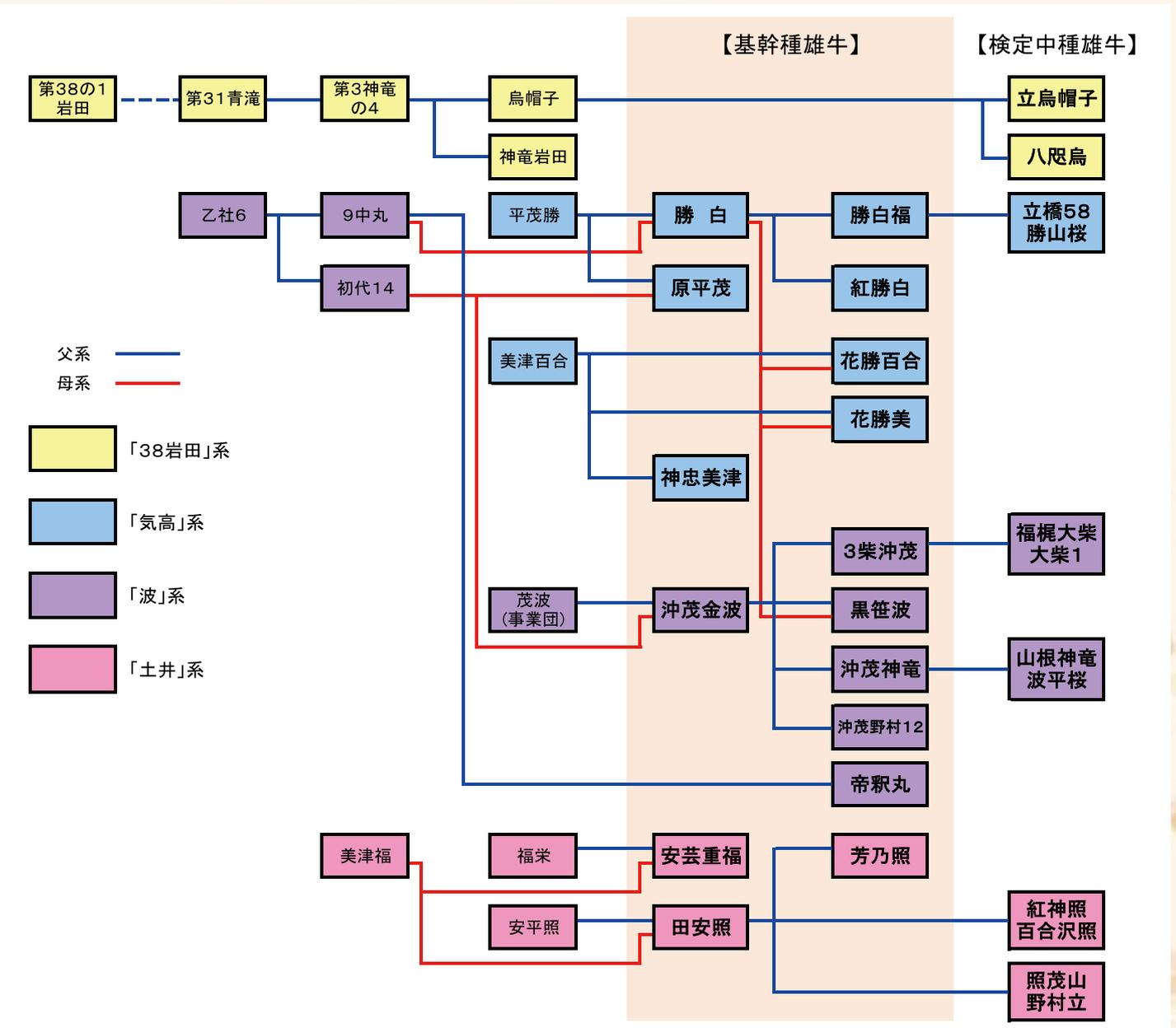
広島波系種雄牛「沖茂神竜」と、父牛に「勝白」を持つ「ひらさくら」との掛け合わせで造成した、広島血統を色濃く受け継ぐ種雄牛です。

# 系統図

## 始祖牛



## 基幹種雄牛・検定中種雄牛



# 基幹種雄牛・血統再構築種雄牛 一覽

選抜年度	名号	血統			推定能力						
		父	母方祖父	母方曾祖父	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	推定歩留	脂肪交雑	MUFA
H16	勝白	平茂勝	9中丸	第43岩田の14	490.0	53.9	8.2	2.8	73.3	7.95	61.5
H21	安芸重福	福栄	美津福	初代14	418.1	57.7	8.0	2.6	74.7	8.26	63.4
H22	田安照	安平照	美津福	第3神竜の4	390.9	58.9	7.1	2.2	75.0	9.38	60.5
H24	紅勝白	勝白	平茂勝	9中丸	458.1	49.3	8.2	2.4	73.5	8.95	59.0
H28	勝白福	勝白	平茂勝	美津福	473.9	49.8	6.9	2.5	72.3	6.96	60.0
H29	3柴沖茂	沖茂金波	平茂勝	美津福	428.4	57.2	7.5	2.2	74.6	8.44	61.4
H30	芳乃照	田安照	美津福	9中丸	367.9	64.1	6.9	1.9	76.1	10.62	66.0
R1	神忠美津	美津百合	勝忠平	北国7の8	489.8	53.5	7.7	3.0	72.7	7.86	66.5
R2	黒笹波	沖茂金波	勝白	美津福	420.4	58.4	7.5	2.1	74.9	9.00	66.8
	花勝美	美津百合	勝白	福栄	485.9	58.3	8.3	3.0	73.9	9.08	61.4
	花勝百合	美津百合	勝白	福栄	514.5	62.8	7.8	2.5	74.1	10.44	64.4
R3	沖茂野村12	沖茂金波	糸福(鹿兒島)	美津福	369.6	60.1	7.8	2.5	75.6	10.68	63.1
血統再構築種雄牛	立烏帽子	烏帽子	百合茂	安福久	461.8	59.0	7.0	2.7	73.5	6.02	59.1
	帝釈丸	9中丸	美津福	9中丸	399.6	58.7	7.5	2.0	75.3	8.55	60.1
	神竜岩田	第3神竜の4	美津福	宝栄2	421.5	54.0	7.0	2.3	73.8	6.92	61.9
	八咫烏	烏帽子	茂洋	安福勝	412.6	54.5	6.9	2.4	73.8	6.21	59.1

※斜字は、期待推定能力（両親の推定能力の平均値）

## 標準化育種価

- 育種価を持つ現存雌牛の平均と比較して、種雄牛の各形質がどれくらいの能力であるか相対的な位置づけを表したものです。

レーダーチャートは、各形質について、面積が大きいほど優れています。

皮下脂肪厚については、数値が大きいほど薄く、小さいほど厚いことを示しますので、数値が大きい方が好ましくなります。

- 基幹種雄牛：育種価をもとに標準化育種価を算出  
待機種雄牛：期待育種価をもとに期待標準化育種価を算出

※期待育種価 = (父の育種価 + 母の育種価) / 2

## 遺伝病について

- 広島県有種雄牛は下記の10項目の遺伝病検査を実施しており、**現在繋養中の種雄牛は、これらの遺伝病を保因していません。**

- ・牛バンド3欠損症 (B3)
- ・牛第13因子欠損症 (F13)
- ・牛クローニン16欠損症 (CL16)
- ・IARS異常症 (IARS)
- ・牛チエデアックヒガシ症候群 (CHS1)
- ・前肢帯筋異常症 (FMA)
- ・牛モリブデン補酵素欠損症 (MCSU)
- ・眼球形成異常症 (MOD)
- ・バーター症候群1型 (BAS1)
- ・メラニン細胞刺激ホルモン受容体遺伝子型 (MSHR)

## 交通のご案内

- JR 芸備線 備後庄原駅から 7km
- 庄原バスセンターから 7km
- 中国自動車道 庄原IC から 6km



 **広島県立総合技術研究所**  
Hiroshima Prefectural Technology Research Institute  
**畜産技術センター**

〒727-0023 広島県庄原市七塚町 5584  
TEL (0824) 74-0331 FAX (0824) 74-1586  
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/31/>

